

英語 広島大学 (前期)

<全体分析>

試験時間

120分

解答形式

記述式が主で一部記号選択式。

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

- ・昨年と同様に、要約問題、2つの資料を読んで解答する問題、自由英作文が出題されている。
- ・Iの要約問題は第6段落のうち第1段落の要約が不要で、指定字数が70字×5段落の350字となった。

その他トピックス

- ・IIで文章の内容をもとに年表を埋める形式の問題が出題された。

<大問分析>

番号	区分	出題分野・テーマ	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
I	読解総合	「犬の睡眠パターンの研究がもたらす知見」 (431 words)	冒頭の段落の要約をする必要がなくなった。比較的まとめやすい文章であった。	標準
II	読解総合	「戦争が奪ったスーダンの文化遺産」 (583 words / 541 words)	問4は字数指定を満たすのにやや苦勞する。	標準
III	英作文	自由英作文「生活と仕事における創造性の大切さ」	理由を複数書くのが難しい。	標準
IV	英作文	自由英作文「日本の一人当たりの魚介類・肉類年間消費量の変化」	グラフの説明と、一つもしくは複数の考えられる理由を書く必要がある。	標準

注：区分は「英文解釈」「読解総合」「英作文」「文法・語法」「聞き取り」「その他」

難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

要約問題は、英文の性質・制限字数・難易度・形式に応じて書くべき内容を考慮する必要があるため、過去問題などを多く解いておくことが必要。なお、制限字数が変化する可能性もあるため、同じ英文について異なる字数で解答を書く練習もすると良い。長文読解問題は該当箇所を見つけ、訳出し、さらに簡潔にまとめる問題を多く解いておくこと。また、複数の英文を読み比べる練習も必要。自由英作文は、「意見論述」「図表の説明」など様々な形式で練習を積んでおくことが望ましい。